

50. アレルギー患者のコンタクトレンズ装用における理想と現実

高村悦子
東京女子医科大学眼科学講座

●はじめに

アレルギー患者のコンタクトレンズ (CL) 装用を考えると、問題となるのは、アレルギー性結膜炎を発症している患者の CL 装用と、CL 装用がアレルギー性結膜炎を引き起こす場合である。前者は、おもにスギ花粉症患者の CL 装用であり、後者は、CL 装用が起因する CL 関連乳頭性結膜炎 (contact lens related papillary conjunctivitis: CLPC) が考えられる。ここでは、どのようにすればアレルギー性結膜炎患者が CL 装用を継続できるかを、結膜炎悪化の要因とその対策をもとに、理想と現実を紐解いてみたい。

●花粉症患者の CL 装用の要望

いまやスギ花粉症は国民病と称されるほど有病率が高いことから、スギ花粉によるアレルギー性結膜炎患者が CL 装用者である確率は高い。アレルギー性結膜炎の既往があり、花粉飛散時期に眼科を受診したアレルギー性結膜炎患者への QOL に関するアンケート調査¹⁾によれば、日常生活にもっとも影響したこととして「CL を入れにくくなる」ことがあげられている。ここからもわかるように、花粉飛散期でも CL 装用を継続したいという要望は強い。

●花粉症患者への CL 処方と指導

基本方針は、アレルギー性結膜炎の治療を優先しつつ、CL が引き続き安全に装用できるようにすることであると考えている (表 1)。症状が改善している時期には 1 日交換タイプの CL を装用する。原則として CL 装用前後に抗アレルギー点眼薬を点眼し、CL 装用時にはレンズに付着した汚れや花粉の洗浄を目的として、人工涙液で洗眼することを薦めている。

●抗アレルギー点眼薬と CL の相性を考える

CL 装用時に抗アレルギー点眼薬の使用を推奨しない理由は、点眼薬に防腐剤として含有されるベンザルコニ

表 1 CL 装用アレルギー性結膜炎 (花粉症) 患者に対する治療方針

かゆみがあるとき
○レンズの装用は原則中止し、抗アレルギー点眼薬を点眼
かゆみが治まれば
○1日交換コンタクトレンズ
○レンズの装用前後：抗アレルギー点眼薬
○レンズ装用時：BAK フリーの人工涙液
・レンズとの相性がよければ BAK フリーの抗アレルギー点眼薬も選択肢
・レンズの使い方は、自己判断せずにかかりつけの眼科医と相談
花粉飛散時期の眼鏡の利点も説明する
○目に飛び込むアレルギーの量が減る
○点眼治療がしやすい

ウム塩化物 (BAK) の CL への吸着の問題や、CL 素材と点眼薬の pH、浸透圧などの液性 (表 2) との相性によっては、まれに CL の変形などが起こる場合があるためである。とくに、点眼薬に汎用されている BAK は、高濃度、頻回に眼表面に接触すると角膜上皮障害を起こす可能性がある。したがって、CL に BAK が吸着し、頻回に角膜に接触することで角膜障害を起こす危険性が潜んでいる。最近では抗アレルギー点眼薬のジェネリック製剤も多数処方されており、これらの液性について把握することはむずかしいため、CL との相性を考えることさえ難しくなっている。

BAK フリーの抗アレルギー点眼薬は多くはないが、結膜炎が軽症の時期に使用する点眼薬としては、選択肢の一つと思われる²⁾。

●アレルギー性結膜炎患者が CL を使い続けるための工夫

花粉によるアレルギー性結膜炎は、涙液中で花粉の殻が破け、アレルギーが流出すること (ハッチアウト) で始まるが、人工涙液は涙液に比べ花粉のハッチアウト率が低い。したがって、BAK フリーの人工涙液で洗眼すれば、花粉を安全に効率よく洗浄することができる。

表 2 抗アレルギー点眼薬の特徴

	薬剤名	商品名	点眼回数	BAK 含有	pH
メディアエーター 遊離抑制薬	クロモグリク酸ナトリウム	インタール	1日4回	+ (UD: -)	4.0~7.0
	アンレキサノクス	エリックス	1日4回	+	6.8~7.8
	ベミロラストカリウム	アレギサル	1日2回	+	7.5~8.5
		ベミラストン			
	トラニラスト	リザベン	1日4回	+	7.0~8.0
		トラメラス	1日4回		
イブジラスト	ケタス	1日4回	+	5.5~7.0	
アシタザノラスト水和物	ゼベリン	1日4回	-	4.5~6.0	
ヒスタミン H1 拮抗薬	ケトチフェンマル酸塩	ザジテン	1日4回	+	4.8~5.8
	レボカバステチン塩酸塩	リボステチン	1日4回	+	6.0~8.0
	オロパタジン塩酸塩	パタノール	1日4回	+	約 7.0
	エピナスチン塩酸塩	アレジオン	1日4回	-	6.7~7.3

UD: ユニットドーズ

(各薬剤の添付文書より引用)

また、レンズ表面の滑らかさ、コーティングの違いなど、CLの種類によってスギ花粉抗原のCry j1の付着の程度が異なる³⁾。眼表面に飛入した花粉がハッチアウトせずに眼表面から流れ去るような環境をCL装用時にも作ることができれば、CL装用者の花粉飛散期の結膜炎の軽減につながる。

一方、CLPCに対するCLの選択としては、汚れがつきにくく、柔らかいCLが好ましい。非イオン性で高含水のCLが選択肢の一つである。シリコンハイドロゲルレンズは、蛋白が付着しにくい反面、その硬さのために瞼縁付近にCLPCの発症がみられる⁴⁾。汚れにくさと柔らかさの両方のバランスが、アレルギー性結膜炎患者の使用するCLには必要と思われる。

●おわりに

アレルギー炎症を軽減するためのCL装用にはまだ工夫が必要だが、点眼を忘れる人でもCL装用は忘れない、

という臨床経験を活かし、花粉症の症状がない時期になんらかの工夫をCLに施すことで、CL中断の低減が図れるのではないだろうか。アレルギー性結膜炎患者がより快適に過ごせる理想的なCLの開発が待たれる。

文 献

- 1) 中川やよい: アレルギー性結膜炎患者からみた治療の実態とニーズ インターネット・アンケートによる定量調査 2007年度報告. 新薬と臨床 **57**: 150-168, 2008
- 2) 亀澤比呂志, 中園由巳, 杉尾嘉宏: コンタクトレンズ装用者におけるアレルギー性結膜炎に対するBAK非含有エピナスチン塩酸塩点眼液の臨床効果. アレルギー・免疫 **23**: 64-71, 2016
- 3) 植田喜一, 佐橋紀男, 高橋雄一ほか: スギ花粉とスギ花粉抗原のソフトコンタクトレンズへの付着. 日コレ誌 **52**: 127-130, 2010
- 4) Skotnisky CC, Naduvilath TJ, Sweeney DF et al: Two presentations of contact lens-induced papillary conjunctivitis (CLPC) in hydrogel lens wear: Local and general. *Optom Vis Sci* **83**: 27-36, 2006

うすくてやわらか、レンズのうるおいキープ。

ワンデーアキュビュー®モイスト® シリーズ



近視・遠視用



乱視用



遠近両用



ディファイン®

◎コンタクトレンズは高度管理医療機器です眼科医による検査・処方をお願いします。特に異常を感じなくても定期検査は必ず受けるようにご指導ください。
◎患者さんがコンタクトレンズを使用する前に、必ず添付文書をよく読み取扱方法を守り正しく使用するようにご指導ください。

販売名・承認番号: ワンデーアキュビュー モイスト・21600BZY00408000/ ワンデーアキュビュー ディファイン モイスト・22300BZX00126000
【効能・効果: 視力補正、虹彩又は瞳孔の外観(色、模様、形)を変えること】

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 ビジョンケア カンパニー 東京都千代田区西神田3丁目5番2号 登録商標 ©J&J KK 2018